

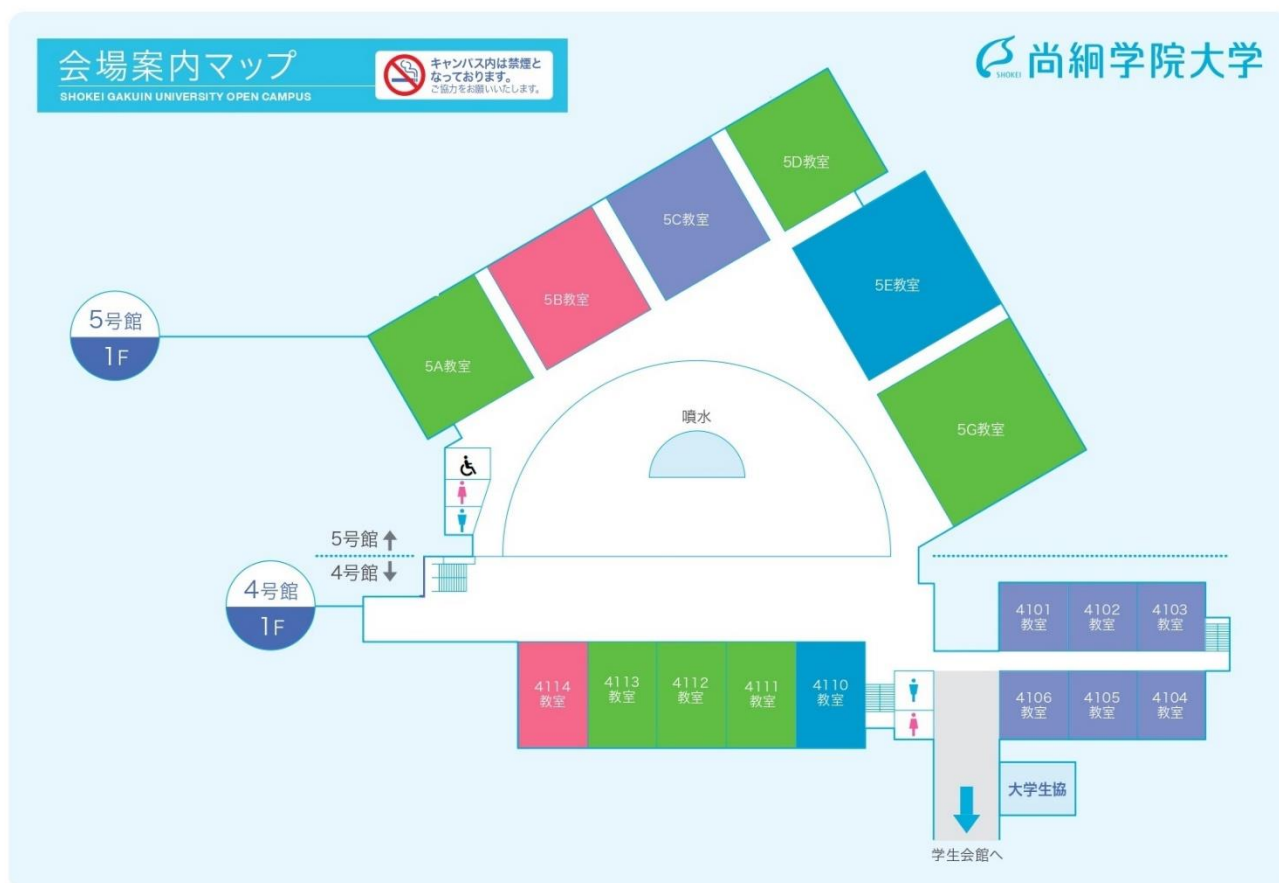


授業見学に関するご案内

6月10日（金）12:50～13:40において、ご参観いただける授業のシラバス（講義内容）を抜粋いたしました。授業をご参観いただく際にご参考いただければ幸いです。

なお、ご参観時には以下の点にご留意いただきますようお願いいたします。

- ・教室の後方出入口付近を授業参観スペースとし、学生に着席することのないよう事前に周知しておりますので、後方出入口からご入室いただき、後方付近でご参観ください。
- ・授業で使用しております配付資料などはお渡しできませんので、予めご了承ください。
- ・授業参観時における、写真・動画の撮影はご遠慮ください。



シラバス（講義内容）抜粋

授業名／開催教室	都市環境計画論 / 4111 教室
担当教員	阿留多伎 真人
学類・学年	人文社会学類 3 年
授業の到達目標・到達レベルの目安	講義は都市環境、都市解析、都市計画の 3 つの部門で構成し、都市を取り巻く様々な問題を環境的な視点から学ぶ。内容は、環境問題として、地球環境問題、都市環境問題、公害問題を取りあげ、都市問題として、都市問題の歴史や都市づくりの思想、都市解析、土地利用の分析、敷地選定方法などについて学ぶ。特に、住宅問題や土地問題などについては社会経済的視点から解説し、住宅や都市を客観的に捉える知識を修得する。
授業のテーマ・概要	講義を主体とし、DVD、プリント、スライド等で内容を補強していく。授業の仮想、質問等をミニッツペーパーで受け付け、講義中に回答する。適宜ヨーロッパやアメリカのスライドや環境理解に関するビデオを用いることとする。また復習のために適宜レポートを課すものとする。

授業名／開催教室	発達心理学 I（発達の基礎領域） / 5E 教室
担当教員	小泉 嘉子
学類・学年	心理学類 2 年
授業の到達目標・到達レベルの目安	乳児期から老年期における生涯発達について、発達の過程と変化のメカニズムを理解し、発達を促す要因について多面的に捉えることができる。 【達成レベルの目安】 (S) 発達の過程と変化のメカニズムを理解し、発達を促す要因について多面的に捉えることができる。 (A) 発達の過程と変化のメカニズムを理解し、発達を促す要因について遺伝と環境の視点から捉えることができる。 (B) 発達の過程と変化のメカニズムを理解できる。 (C) 発達の過程について理解できる。
授業のテーマ・概要	テキストと配布資料を中心に、1. 発達の定義について理解し、「発達するとはどのようなことか」について基本的な発達理論を理解する。2. 乳幼児期から児童期にかけての認知、言語、知能、運動、感情、気質と性格、遊びの発達を概観し、定型発達について理解する。

授業名／開催教室	公認心理師の職責 / 5B 教室
担当教員	三好 敏之、川端 壮康、渡部 敦子
学類・学年	心理学類 3 年
授業の到達目標・到達レベルの目安	国家資格である公認心理師として、現場で貢献し利用者に役立つ心理職になるために、公認心理師の役割、法的義務・倫理、安全の確保、情報の適切な取り扱い、具体的な職務について理解できること。 【到達目標の目安】 (S) 公認心理師に必要な、公認心理師の役割、公認心理師の法的義務および倫理、心理に関する支援を要する者の安全の確保・情報の適切な取り扱い、具体的な業務、支援者としてのストレス・マネジメント、他職種連携・地域連携を理解することができる。 (A) 学生を少人数のグループに分け、与えられた授業の課題テーマに協同で取り組ませ理解を深めることができる。 (B) 授業中に特定のテーマについて学生同士の議論を行い、理解を深める。 (C) 与えられたテーマに対して、授業中や授業外学習において、学生自身に ICT 機器調べ理解を深める。
授業のテーマ・概要	国家資格である公認心理師として、現場で貢献し利用者に役立つ心理職になるために、公認心理師の役割、法的義務・倫理、安全の確保、情報の適切な取り扱い、具体的な職務について理解する。医療、福祉、教育、司法・犯罪分野の経験を持つ教員が担当し、具体的な事例をもとに演習・講義を実施する。

授業名／開催教室	児童文学論 / 4104 教室
担当教員	田村 嘉勝
学類・学年	子ども学類1年、学校教育学類1年
授業の到達目標・到達レベルの目安	国内外の児童文学（絵本を含む）に関する基礎的知識を学び、児童文学の魅力を味わうとともにその研究方法を体得できるようにします。 【達成レベルの目安】 (S) 児童文学に関する基礎的知識を理解し、研究方法について完全に体得している、と同時に、作品読解力が身に付いている。 (A) 児童文学に関する基礎的知識を理解し、研究方法についてかなり体得している。 (B) 児童文学に関する基礎的知識を理解し、研究方法についてある程度体得している。 (C) 児童文学に関する基礎的知識を理解している。
授業のテーマ・概要	児童文学（絵本を含む）の定義及び変遷を探りながら、主要な作品を読み解くことにより、日本の、そして世界の児童文学の抱える課題を解明します。

授業名／開催教室	子どもの発達と障害 / 5G 教室
担当教員	小松 秀茂
学類・学年	子ども学類2年
授業の到達目標・到達レベルの目安	子どもの発達過程について理解すると同時に、その発達を阻止する要因について、主として心理学の成果に学びつつ、種々の障害（児）について、理解を深める。 <到達レベルの目安> C：最低限の授業内容を理解している。 B：基本的な授業内容を広く理解している。 A：授業内容を広くかつ深く理解している。 S：授業内容について網羅的にかつ高いレベルで理解している。
授業のテーマ・概要	上記目標の達成のために、1) 乳幼児期から青年期にかけての一般的発達過程、2) 障害の種類・程度・発生頻度・原因、3) 各種障害児に対する理解と教育的支援のあり方、4) 発達診断の方法、5) 発達支援の方法等々について講義する。なお、実践に役立つように、実践事例を可能な限り多く紹介する。

授業名／開催教室	病弱教育論 / 4113 教室
担当教員	能田 昂、小池 敏英
学類・学年	学校教育学類2年
授業の到達目標・到達レベルの目安	・病弱教育の意義・制度・歴史的変遷・教育課程について理解する。 ・子どもの疾患や心の病気の实態、その指導法や学校で配慮すべきことを理解する。 ・子どもの発達の可塑性や子どもの脳・身体の再生力の視点から、病気の子どもの発達支援と教育のあり方について理解する。 ・【達成レベルの目安】 (S) 病気をかかえた子どもの「発達支援」に重要な仕組みや教育的対応について具体的に説明できる。 (A) 心の病気を含む子ども・若者の疾患の病態と必要な教育的配慮について説明できる。 (B) 病気をかかえた子どもになぜ教育が必要なのか自分なりに説明できる。 (C) 病弱教育の基本的な制度・仕組みを理解する。
授業のテーマ・概要	病気の子どもの発達支援と教育のあり方について、教育課程や教育形態、指導内容（各教科、自立活動等）など基本的な事項をおさえながら、先駆的な教育実践や北欧先進国の動向、最新の研究成果とともに考えていく。

授業名／開催教室	公衆衛生学Ⅰ / 4114 教室
担当教員	柳沼 梢
学類・学年	健康栄養学類 2 年
授業の到達目標・到達レベルの目安	医療・保健・福祉の問題、環境問題と健康への影響、また、人口・疾病・死亡などの統計、健康増進のための対策、地域保健など、人間集団の健康を保持増進するための組織的活動とその理念やシステムについて理解できること。 【達成レベルの目安】 (S) 現在のわが国の公衆衛生活動を理解し、説明することができる。 (A) 公衆衛生学に関する基本的な概念と内容について理解し、説明することができる。 (B) 公衆衛生学に関する基本的な概念と内容について理解することができる。 (C) 公衆衛生の基本的な内容について理解することができる。
授業のテーマ・概要	教科書、プリントなどを用いて、公衆衛生学の基礎・基本を学ぶ。

授業名／開催教室	臨床医学Ⅰ / 4112 教室
担当教員	助川 淳
学類・学年	健康栄養学類 3 年
授業の到達目標・到達レベルの目安	将来、管理栄養士をはじめとした人の健康を栄養面からサポートする立場にたつことを目指す学生にとって、疾病の病態を理解することは極めて重要である。本講義を受講し理解することにより、さまざまな疾病発症の基本的病理メカニズム、臨床診断や検査の概略を述べるようになる。さらに後半の授業の受講により、臨床医学各論としての栄養・代謝系疾患の詳細を理解できるようになる。 【達成レベルの目安】 (C) 細胞や組織の病的状態に関する専門用語（医学用語）の意味を理解できるようになる。 (B) 病的状態における様々な臨床検査や検査値、また症候について理解出来るようになる。 (A) 各疾病が引き起す細胞や組織の病的状態を詳しく説明できるようになる。 (S) 各疾病が全身に及ぼす影響や転帰（結果）、治療の可能性について理解出来るようになる。
授業のテーマ・概要	はじめに人体の構成要素である細胞や組織の病的状態におけるさまざまな変化について解説する。ついで臨床検査の基本と疾病における症候及び診断について概説する。後半の授業では、栄養・代謝系疾患の各論を学ぶ。